

秋の発表会 2007



いけばな展(狭山市華道連盟)



日本舞踊公演(狭山市日本舞踊連盟)



狭山美術展・生涯学習展(狭山市民美術協会)



狭山市美術家協会展



----- さやま・文化の息吹 -----

狭山市民謡協会

毎年8月に行う「民謡のつどい」は、今年は11会派170名が参加し、盛り上がった。地元埼玉の唄も、コンクールで特別な枠を設けて普及を計りました。会主・会員に本場の地元出身者も多く、競い合っレベルは高いと思います。

民謡は、先人達が素朴な暮らしの中から生み出し、引き継がれて来た文化遺産。手拍子で唄いあった宴会はカラオケになり、放送映像も少なくなり、今や愛好者だけのものになりつつあります。文化祭発表会にも、来客は少ない。

指導する会主・会員の高齢化が心配です。60代以上がほとんど。特に会主は高度な技量と経歴で、師弟が代わるのは至難。活動休止や解散が心配です。新入会員が少なく退会が上まわり、15名以下の会派が多数あります。公民館で活動する会派もあるが、費用やわずらわしさから敬遠されがち。

各地の施設にボランティアで行くと、そこには一緒に口ずさみ、涙を流して喜ぶ姿があります。

私達は愛好者を掘り起こし、会員を増やし、民謡の素晴らしさを後世に伝えるお手伝いをと願っています。

副理事長 高沢正夫